

ボーリング柱状図

調査名 中央区六本松4丁目地内外3件土質調査業務委託

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.3		調査位置	大野城市御笠川4丁目				北緯	33° 32' 53.7"						
発注機関	福岡市水道局西部管整備課				調査期間	平成27年8月26日～27年12月15日				東経	130° 28' 51.5"				
調査業者名	新地研工業株式会社 電話(092-611-5211)		主任技師	徳田充樹		現場代理人	山下堅志		コア鑑定者	徳田充樹		ボーリング責任者	西川正信		
孔口標高	17.83m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 90° 東	地盤勾配	鉛直 90°	水平 0°	使用機種	東邦製D0-D		ハンマー落下用具	半自動落下		
総掘進長	9.00m	度		向		試験機	エンジン		ヤンマー製NFAD8		ポンプ	東邦製BG-3C			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験 (掘進月日)									
										深 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量 (cm)				N 値	深 (m)	試験名および結果	深 (m)	試料採取番号	採取方法			
16.03	1.80	1.80		盛土・礫質土	暗褐色	緩い		舗装材料やマサ土、碎石チップ等からなり、最大で100~200mmの礫やクリ石を含む。	10/19 4.50	1.65	1	1	3	5/30	5											
15.03	1.00	2.80		シルト	褐色	軟らかい	中位	旧表層上部にあたる。やや乾燥しており、粘着性は中位。		1.95	1	2	1	30	4											
				砂	灰〜青灰〜黄褐色	中ぐらい		河川の堆積物である。石英粒子の粗砂が主体であり、所々にシルト分をブロック状に含んでいる。透水性が高く、水位以下では孔壁が崩れやすい。 深度8.95m以深は風化花崗岩の土塊が混じっている。		2.15																
										2.45																
										3.15	5	5	5	15/30	15											
										3.45																
										4.15	4	4	5	13/30	13											
										4.45	5	6	7	18/30	18											
										5.15	5	4	5	14/30	14											
										5.45	5	4	5	14/30	14											
										6.15	5	4	5	14/30	14											
										6.45	5	6	4	15/30	15											
										7.15	5	6	4	15/30	15											
										7.45	6	8	8	22/30	22											
										8.15	6	8	8	22/30	22											
										8.45	7	9	10	26/30	26											
										9.15	7	9	10	26/30	26											
										9.45																

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。